

世の光

日本同盟基督教団
東京都渋谷区幡ヶ谷1-23-14
TEL 03-3465-2194
FAX 03-5465-5465
振替 00120-5-142886

発行人 廣瀬 薫

毎月1回1日発行1部5.5円

しっかりと組み合わせられ、
愛のうちに建てられるのです。
エペソ4章16節

巻頭言



家庭の祝福

理事 丸山 園子
まるやま そのこ

一切れのかわいたパンがあつて、平和であるのは、ごちそうと争いに満ちた家にまさる。

箴言17章1節

こんなに大切な家庭

こんな家族像は、レトロすぎて時代に合わない、と言われそうな社会になりました。ともすると、クリスマスチャンホームも、その風潮に流されてしまいそうなの。家庭生活は、個人のテリトリー、プライベートにかかわるから」と、教会でも触れにくい領域になってしまっていないでしょうか。憧れの家族のイメージと言え

ば、『大草原の小さな家』。その作者であるローラ・インガルスが『29の知恵』の中でこう言っています。

「家庭を築くという仕事のなんと重要なことでしょうか。私は時々、現代の人々はあまりにも忙しすぎて、この特別に大切な仕事をないがしろにしているのではないかと心配になります。(中略)社会がどんなに変化していこうとも、こんなに大切な家庭というものを、おろそかにするべきではありません。人は大人になってから、品性を問われるような立場に立たされる場合があります。その時、

善を選び取る力を与えてくれるのは、発展した社会や、一部の人は楽しく思えるのかもしれない娯楽などではなく、家庭で過ごした静かな落ち着いた時間や、心に響いてくる小さな内なる声だからです。

日本も、高度成長の中で、忙し過ぎました。最近はかろうじて掲げられていた「ゆとり」すら見直されようとしています。これから、忙しさはどうなっていくのでしょうか。また、「公共の秩序」を重んじる価値観の中で、大切なものを選ぶことができるでしょうか。

みことばに生きる家庭生活

神さまは、創造のはじめに夫婦、そこから誕生する子どもたち、家族を祝福されました。イエス・キリストによる救いを受けて、私たちは、神のかたちを回復し、この祝福を継承しています。エペソ・コロサイ人への手紙では、救いの教理の確認の後に、「妻たちよ」「夫たちよ」「子どもたちよ」「父たちよ」と、呼びかけが続ぎ、具体的な勧めが記されています。家庭生活こそ、みことば実践の現場。みことばに生き、祝福を受けること

ができるのが、家族です。そして、次の時代の教会の祝福につながります。ですから、教会で「みことばに生きる家庭生活を！」と励まし合っていくことが必要です。責め、裁くためではなく、祝福を受けるために励ましましょう。(家庭教育部長、習志野台キリスト教会牧師)

*家庭教育部のホームページ、ご活用ください。



家庭教育部

第一回親子セミナー 関西篇
「性&いのち」を語れるのは、
助産師とクリスチャンだけ

部長 丸山園子
まるやま そのこ



10月1日、松原聖書教会を会場に行われました。午前は、ジョイファミリー幼稚園の親子を中心に27組の親子セミナー、午後まで残る参加者と合わせて、68人の参加者でした。これから関東で行われますから、内容はお楽しみに。参加者の声をお届けします。

■参加者の声

○20代女性

幼稚園の子どもから大人まで、わかりやすい内容で、とても勉強になりました。

○30代男性

教会で中高科のスタッフをしています。性的なことを彼らに伝えるのは本当に難しいのですが、先生の言葉はとてもわかりやすく、また聖書のみことばと関連付けて語ってくださったので、とても勉強になりました。神さまから与えられた素晴らしい自分のからだを誰かの喜びに役立てる、自分もそのように生きたいと思いましたし、そのことを伝えていく者となっていきます。

○50代女性

小さな子どもたちから、そのお母さんたち、どんな年代の人々に

も貴重なお話を、とてもわかりやすく、楽しく、熱くお話しください、ありがとうございます。教会学校の子どもたち、若い人々にも、祈り伝えていきたいです。

○70代女性

性のことは、考え深く大切なこと、これまで青年たちにも語ってきましたが、今回の学び、とても新鮮で、これなら教えやすいと思いました。小さい子どもから大人まで、いろいろ用いていきたいです。

○70代女性

今からでも遅くないと気付かされました。これから、40代の娘に、生まれてきたことを感謝して喜びをともに語り合って、判りあえる親子になりたいと思いました。

関東篇は11月19日(土)、中野教会です。午前は親子向けのセミナー、午後は指導者向けのセミナーです。詳しくは家庭教育部ホームページをご覧ください。

<http://www.edu-domei.net/> 家庭教育部

(習志野台キリスト教会牧師)

宣教のために「譲ります」「譲ってください」コーナー

情報は、毎月10日までに、①「譲るもの」または「譲ってほしいもの」、② 教会名、③連絡先と担当者名を吉持日輪生 (yoshimochihiwao@gmail.com) までお寄せください。3回まで掲載します。

■譲ってください 2回目①讃美歌「聖歌(旧)」、②桜が丘キリスト教会、
③ TEL/FAX 086-955-0548 片山進悟

流 恵

文章力のない者にも恵み与え

麻布霞町教会員 安西 英夫 あんざい ひでお

毎月「世の光」を読んでいます。私にも原稿依頼が来るとは思いませんでした。このために文章力のない者にこれから書く準備をしていたと思います。

30年前から私も教会の月刊誌「かすみ」を毎月発行してました。まだ教会の役員の話です。この「かすみ」は牧師のみことばや教会員の証しを載せていました。まだワープロ、パソコンのない時代で活版印刷で印刷会社に印刷してもらってました。手書きの文章を校正し印刷しやすく直してました。教団の「世の光」のように枚数はありませんでしたが、私が担当の時は毎月発行できました。原稿も集まり、また作文のあまり得意でない私でしたが、皆さまの協力により、なんとか続けて発行できることができました。ワープロ時代の「かすみ」は牧師にほとんどワープロで入力してもらいました。今はパソコンで制

作しています。ワープロ時代からは「かすみ」は他の役員に任せて総務の全体を見ていました。以前のもので読んでいますとその頃のことか思い出せません。

今教会も70周年記念誌発行のために準備しているところですが、私も記念誌が発行される時期には70歳になりますが、これからは主の恵みを証ししていきたいと思えます。

近年スマートフォンで音声を入力するとテキストになります。とても良い時代になったと思えます。この文章もスマートフォンで入力しています。毎日神さまに感謝します。毎週日曜日は教会に行き礼拝できることが一番の幸いです。これからも機関紙を教会の会員にお願いして書き続けたいと思えます。今はみことばのリレーを「かすみ」に毎月続けています。

救いの証し

グローリー！待っておられた神さま

横浜白山道教会員 服部 哲郎 はつかり てつろう



わが教会には「白山道グローリー」というソフトボールチームがあります。25年前に設立され、教会学校に通う小学生を対象に、毎週土曜日の午後練習しています。そのチームで昨年度から監督として奉仕をしています。

2年前の7月に開催されたコーチ会議のことでした。マタイの福音書11章30節「わたしのくびきは負いやしく、わたしの荷は軽いからです」のみことばが松下信牧師をとおして与えられました。特に『くびき』が深く心に残り、『あなたは、誰とくびきを負いますか』という問いかけに人生のくびきを一緒に負って下さるイエス・キリストを鮮明に意識できました。そしてイエス様を罪からの救い主であると受け入れ、2014年12月、66歳で洗礼にあずかりました。教会とのつながりは、25年前か

からです。既に教会員であった妻の勧めもあり、教会学校3年生の息子と一緒に、グローリー発足に参加したことから始まります。仕事との関係もあり手伝えしたのは10年位でしたが、息子が卒業してもコーチとして手伝っていました。ただし日曜日は自宅でした。教会に行くようになったのは5年位前から、グローリーの手伝いを再開したのがきっかけでした。

25年間、神様は待っていてくださいました。これから何年できるかわかりませんが、教会学校の生徒の成長を見守りながら、体力が続く限りノックをしていきたいと思えます。そして多くの方々とキヤッチボールをしていきたいと思えます。イエス・キリストの下で。



宣教区紹介

北海道宣教区

距離を超える愛の働き

宣教区長 ほんだ たみお 本多 民生

豊かな自然と美味しい山の幸と海の幸、8年連続都道府県魅力度ランキング1位に輝く北海道にある教会は、北海道自体の魅力に負けない豊かな魅力を持つ教会でいっぱいです。伝道所を含めると15個の教会によって構成される北海道宣教区は年々活動を増やし、宣教区主催の集会だけで祝日が埋まってしまうのではないかと思うほどで、少し活動を整理したほうがいいのではないかと思うぐらい頑張っております。

そんな活動的な北海道宣教区の素晴らしいところは活動数もさることながら、広大な距離を苦にしない教会同士の愛の関係の強さだと言えるでしょう。九州と四国と岩手県を足した面積を持つ北海道で協力していくためには、片道1時間は隣町、2時間の移動は普通で4時間以上の移動でやっと長距離と感ずるようなスケールが必要となります。どの活動も素晴らしいですが、特に私が素晴らしいと

思っているのは壮年会の活動です。壮年会の皆さんは集会をすることをメインにせず、各教会を少しでも助けることができるようにと祈りながら奉仕することを目的にして活動をしてられます。壊れた玄関の修繕、トラクト配布、時には普段夫人ばかりの教会では難しい2階の窓の外側の清掃。集まる人数の多い少ないにこだわらず、また奉仕の大小にこだわらず、喜んで遠方に出かけ最善を尽くして奉仕する姿には感動させられます。

祈りの課題は十勝めぐみ教会の祝福と次々に立ち上げられる伝道所の祝福。そして、2015年から活動を再開した青年会(HDS)の祝福を特に祈っていたと思います。

(富川福音教会牧師)

教会支援部

教会支援制度を利用して

高松泉キリスト教会牧師 みやじ こういち 宮地 宏一

日々、私たちの教会のために祈りくださり、心から感謝いたします。8月28日に教師派遣制度を利用し、下北沢聖書教会の山口謙先生ご夫妻をお迎えすることができました。先生は16年前、デブテーションで一度、私たちの教会を訪問してくださり、2度目となります。今回は礼拝と、午後のセミ

ナーでご奉仕いただきました。

第一礼拝ではエペソ人への手紙2章3〜10節から「美しい作品」と題して、本からの引用やタイ宣教におけるお証しなどを交えながら、みことばを取り次いでくださいました。その中で先生は、完全な神さまによって造られた私たちが、自らの不従順によって怒りの子となったが、十字架の愛と恵みによって、本来の自分の価値を回復することができたと力強く語ってくださいましたのです。キリスト者であっても、自分の存在価値を見失いがちな時代にあつて、自分が存在することの意義を見いだすことができ、礼拝をささげた一人一人がとても励まされ、教会から遣わされました。

午後のセミナーでは使徒の働き20章32節から「聖書を読もう」と題して、聖書を恵みのことばとして読むことを励ましてくださいました。その中で、聖書を読む上で大切なことは、聖霊の導きに従う





教会紹介

いのちの樹教会(関東宣教区・埼玉県狭山市)

この地域の福音化のために

牧師 小見靖彦

ことと、基本的な知識が必要であることを教えてくださいました。また基本的な知識を身に着けるための一つとして、牧師の説教をよく聞くこととあり、私自身、さらに学びながら説教を準備しなければと思われました。

今回、私の恩師で、神学校入学の際には、多くの祈りとアドバイスをいただいた山口先生ご夫妻をお迎えでき、私たち家族の、また教会の様子を見ていただけただけことは、私にとって大きな喜びでした。ご支援を心から感謝いたします。

いのちの樹教会は1961年にエドワード・H・マルチン宣教師によって「狭山バプテストチャーチ」という単立教会として開拓がスタートいたしました。埼玉の伝道に用いられた石川製糸工場のお膝元であり、当時は米軍基地が隣接していたこともあって、宣教師が多く住み着いた地でした。その後、フィリップス宣教師、ヘギー宣教師を迎え、大嶋義隆師の時代に同盟教団に加盟いたしました。鯉淵千者也師の時代に「いのちの樹教会」と改名、続く平島誠師の時代に新会堂を建設いたしました。2009年にこの者が遣わ

教会紹介

小倉中央教会(九州宣教区・福岡県北九州市)

開拓から今日まで

牧師 金永完

されて、今年で56年目を迎えます。教会員が地域の幼稚園を運営していることもあって、私たちの教会は古くから幼稚園と協力して、子どもたちとその父母に向けて伝道をしてきました。と言いましても、我が家の子どもたちが園児なので、私は牧師としてではなく、共に子育てに悩む父母仲間として関わり、月に1、2度、父母の方に向けてみことばの時を持たせていただいています。この幼稚園をきっかけに初めてみことばに触れる人も多く、単に教会の伝道というよりは、この地域の福音化のた

めに大切な関わりであると考えています。また、月に一度は高齢者を対象にした「オリープのつどい」を開き、交わりとみことばの時を持っています。地域の方や教会員の家族の居場所作りに用いられています。

昨年から今年にかけて、長い間途絶えていた洗礼者が数名与えられ、心から感謝いたしました。子どもたちの礼拝出席も徐々に増えてきています。少しずつですが、歩み続ける私たちに更なるビジョンが与えられるようお祈りください。

キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分が、その力量にふさわしく働く力により、また備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して愛のうちに建てられるのです。

エペソ4章6節

34年前に小倉中央教会は、同盟教団のビジョンの一つであった、九州で最初の教会を建てあげた為、岡山教彦師(現在大分恵みキリスト教会牧師)が神学校卒業後に任命されスタートしました。開拓3年後には、驚くべき神の御業により、好立地の現在地に新会堂



が与えられました。
その後、教会開拓より大変ご尽力くださった岡山師の移動に伴い、後任となった大原高久師は、忠実に8年間牧会してくださいました。そして今春、北海道聖書学院卒業後、この小さき者が伝道師として導かれました。ここは私の育った釜山と近くでもあり、雰囲気がとても似ています。違和感なく安心して生活しています。また神の恵みにより、同郷の朴忠勲牧師(大分希望教会牧師)が主任牧師に任命され、私たち家族と教会を

全面的にサポートしてください。大変感謝しています。

さて、私がここで示されたビジョンは、神を知り、交わり、伝えるこの3つです。

それはみことばを学ぶことにより、信徒が神と深く交わること。また、信徒間の交わりにより互いに成長し、これらの交わりを通じて、主の愛を隣人に伝えることができると願っています。

指導者として教会を建て上げるにはまだまだ未熟ですが、神さまのご栄光が現れる教会となるよう伝道の働きに邁進していきたいと祈っています。今後ともご支援とお祈りを何卒宜しく願っています。

教団ニュース

《教団カレンダー》

11月20日(日) 謝恩デー

《会議》

理事会 11月7日(月) 教団事務所

12月5日(月) 教団事務所

《2016年度正教師試験 答案受付のお知らせ》

正教師試験問題の答案は、11月

30日(水)(当日消印有効)までに、配達記録の残る方法(書留等)にて、教団事務所宛にご提出ください。

《献堂》おめでとございます。

◇上総キリスト教会(千葉宣教区)は、9月22日(水)に献堂式を行いました。

◇藤枝中央キリスト教会(東海東宣教区)は、10月23日(日)に献堂式を行いました。

《訃報》謹んでお知らせいたします。

◇吉持早稚子師(関西宣教区・茨木聖書教会)のお父様 前川康夫様は、8月27日(土)に召されました。

◇山本恭代師(東海東宣教区・湖西キリスト教会)のお父様 浅田豊靖様は、8月28日(日)に召されました。77才でした。

◇小泉健師(中国四国宣教区・防府聖書教会)のお父様 小泉雅司様は、9月25日(日)に召されました。77才でした。

◇仲川武師(引退教師)は、9月27日(火)に召されました。91才でした。

◇川嶋賢廣師(引退教師)は、10月5日(水)に召されました。87才で

「世の光」紙10月号の訂正

「世の光」紙10月号4ページの「心と体を良く保つために(43号)」2段目左から2行目、3行目の「・・・その時の体を、最も力が発揮できる状態に保ちます」を「その時、体として最も力を発揮できる状態にあります」に訂正いたします。

社会厚生部

コラム「信・望・愛」の原稿募集

牧会の現場で経験した「信仰・希望・愛」に満ちた教職者からのお証しを募集しています。600～700字で吉持日輪生(yoshimochihiwao@gmail.com)までお寄せください。

NO.187

中国内宣教



伝道とは何か？

苦小牧福音教会 牧師

みずくさ しゅうじ
水草 修治



兄弟姉妹の中には「さんざんトラクト配ったけどだれも教会に来てくれなかった」、「福音を聞かせたけれど拒絶された」と、がっかりしている人たちが多いのではないだろうか。それは恐らく「伝道とは滅び行く魂を救いに導くことだ」と考えているからでしょう。こういう伝道理解に立つと、「成果」が上がらないとがっかりし、もっと悪いことには、伝道が困難そうな地域では伝道する意欲が失せてしまうでしょう。

私は神学校の伝道学で主の4つの大宣教命令を根拠として、伝道について少々異なる理解を教えられました。へ伝道とは、第一に託された地域のすべての人に福音を聞かせることである(マルコ16章15節、ルカ24章47節、使徒1章8節)。第二に福音を聞いて救われた人々を主の弟子として育てることである(マタイ28章19節)。だから、まず託された

地域のすべての人に福音を知らせることができたら、それでひとつの成功と考えなさい。主の声(福音)を聞かせれば、主の羊はそれ知っているので、ついて来た羊を弟子の群れとするのだ(ヨハネ10章3と5節)。と教わりました。

この伝道理解に立てば、たとい多人数の教会であっても託された地域の人々にあまり福音を聞かせていなければ第一点について失敗しており、たとい少数人数の教会であっても託されたすべての人に福音を聞かせることができているならば伝道における第一点について成功をしているのです。

あるドイツの宣教学者が「人口三千人に対して一人の牧師が必要である」ということを書いているのを読んだことがあります。恐らく国教会における「教区」から発想した場合、このくらいの数字になるので

国内宣教 No.187 1億2千万宣教

しよう。けれども、国教会を前提としなくても、伝道者が「神の御子イエスは、あなたの罪のために十字架にかかって死んでくださった、あなたが義とされるために三日目によみがえってくださいました。」と一人ひとりにしつかりと伝えようとすれば、三千人が限界なのかもしれない。

私は、22年間、広い長野県南佐久郡人口二万五千人ほどの人々に福音を知らせるため、毎月『通信小海』という伝道新聞を作って七千部折り込みをしてきました。それで十分だとは思いませんが、少なくともこの地域の字が読める多くの人たちは、キリストの十字架の福音を知る機会を提供することができただろうとは思っています。

この春から苦小牧市に遣わされて、さてどのようにして伝道しようかと考えたり祈ったりしているとこうですが、とにかく主に託されたすべての人に福音を聞かせ、悔い改めた人を主の弟子とせよという主の命令に応えたいと願っています。

(苦小牧福音教会牧師)

「キャラバン伝道」報告

宮崎キャラバン伝道に参加して

東岡山キリスト教会
原 百合子



岡山から新幹線と在来線を乗り継ぎ、6時間あまりかけて宮崎に辿り着きました。土曜日に子ども会を計画し、最初の2日間は公園伝道やトラクト配布、チラシ配りなどをしました。子ども会参加20人を目標にし、前日夜から会場セッティング、みんなで祈り、期待して当日を迎えました。

当日は目標の20人には届きませんでした。11人もの子どもが集まりました。みんなで喜びました。午後、その中の4人の子どもたちが教会に遊びに来て一緒に過ごしました。すっかり教会に馴染んで遊んで

いたので驚きました。金先生も、今までこんな事はなかったと言われ、子どもたちが教会に来てくれたことをみんなで喜びました。

今回宮崎キャラバンに参加して、子ども伝道の難しさを実感すると同時に、子ども伝道のために奉仕をしていきたいという思いが強くなりました。

最後に、チキン南蛮発祥の地、宮崎のチキン南蛮は絶品でした。神様に感謝！



国内宣教 No.187 全県に同盟の教会を

光の森キャラバンに参加して

愛媛めぐみ教会
細谷 クララ

キャラバン伝道の面白い所は個性のあるメンバーが揃い、個性が活かされたチームで奉仕出来る所。そして皆で同じ神様に仕えているという事を、活動と期間中に凝縮された証から感じられる所。今回は特に、年齢、救われた経緯、キャラバン以外での奉仕や教会での過ごし方などが様々でそれぞれ献身の姿から私が今後どのように自分の教会、そして開拓教会に仕えていくかを改めて考えさせられた4日間でした。

被災地へ行くことが初めてであり何をどうすればよいのかと思いつながら参加しましたが、具体的な話を直接聞くこと、現地へ行って実際に目で見ることでより覚えて祈ることが出来ました。又震災を経験し痛みの中にありながらも懸命に奉仕され、期間中にどんどん明るくなられた先生方の姿、光の森キャラバン史上初のチラシを見て来会された方や子ども会に続いて礼拝

に来てくれた小学生を見て、今後光の森聖書教会はこの地で大きく用いられ、たくさんの祝福があると確信しました。その祝福の前味を味わえたようなキャラバンでした。



子ども会



みんなでいっしょに





3日目のグレイスキップズ、子供たち皆での方レーつくり、食後のゲーム、「本当の神様」のお話し、エゾリスの走る鈴蘭公園でのお母さんも参加しての水鉄

そんな私の弱い想いも、困難と喜びの開拓伝道にも、礼拝にも、子供会にも笑顔で先頭に立って下さる、全東爽先生と尚子先生の主にある愛を見るにつけ、子供達も教会員のみなさんも心が開かれていれることを覚えることができ、イエス様がともにおられると、力づけられて感謝でした。

十勝キャラバンの恵み

武庫之荘めぐみ教会
村崎 和孝

隊長の青木義紀先生と男性3人のオトコ4人隊。例年だとヤサシイ女性隊員に子供たちも心を開いて遊んでくれる??



前後の被害の大きさを今思うにつけ、主の守りと大きな憐れみをおぼえずにはいられません。諸教会、祈りのサポートの方々との祈りと支えを覚えて心から感謝申し上げます。

砲ゲーム、教会に戻ったの交わり会。すっかり夕方になり迎えるの交わり会は本当に主イエスがともに居られる豊かな御国の交わりでした。感謝！グレイスキップズの集いで祝福された子供たちやご家族がイエス様にながりますようにお祈りします。台風11号が8月21日に、台風10号が遅れて8月31日に上陸して、東北、北海道に大きな被害をもたらしましたが、その合間の1週間を挟んで十勝めぐみ教会のキャラバンは祝福の中に守られました。

国内宣教 No.187 点から線へ、線から面へ

防府聖書教会

キャラバンレポート

「連れて来たけ〜」

霞ヶ関キリスト教会牧師
佐野 泰道

9月15日から18日、防府聖書教会のキャラバンが行われました。メンバーは私のほか、愛宕山教会の武安先生、西大寺から森川先生と4人の兄弟姉妹でした。主な奉仕は土曜日の午後「子どもフェスタ」でした。小学校の前でチラシ配布をしましたが、保護者からのクレームで止むなく切り上げ。それでも教会の近くで小学生を見かけると、チラシを渡しました。

当日、始まる30分前に2人の小学生が来てくれたのですが、少し中をのぞいて帰ってしまいました。静かな時間が流れ、教会には小泉先生の子どもたちと教会員関係の小学生という、いつものメンバー。「よし。この4人のためにやろう」と覚悟を決めた矢先、「ドド〜とやって来ました。近くに住む1年生から6年生まで、男女入り混じり

の仲良しグループ。例の帰って行った子は、ニコニコしながら「連れて来たけ〜」と。

集まった18人の子どもたちに、腹話術(森川先生)と聖書劇で福音を伝えました。わずかな滞在でしたが、訪問しないとわからない地方教会の課題を垣間見ることができました。



森川直子先生の腹話術



デプテーションの証し

「生けるレジエントたちを訪ねて」

盛岡みなみ教会牧師
大塚 史明



緑も深くなった6月の最終週、北陸飛驒宣教区をデプテーションで巡回する機会に恵まれました。教団レベル開拓の牧師にとつて、最後のデプテーションです。そのファイナーレが北陸飛驒宣教区であったところに、主のご配慮を味わいました。

飛驒地方は同盟教団設立の礎となったSEMの宣教師たちがまっさきに飛び込んでいった未伝地の一つであり、また、私の祖父・大塚清明は戦後に古川教会で12代目の牧師を務めました。さらには、飛驒から山路を超え北陸に広がる諸教会を訪問できたことは、宣教の歴史を直にたどる畏敬の念にも似た感覚が沸き起りました。

全6日間9教会に渡る旅程、すべての訪問先で先生方や信徒の方々が歓迎してくださり、岩手開拓の報告に喜んで耳を傾け、祈つて送り出してくださいました。各教会では、礼拝や祈禱会をはじめ、このデプテーションのために特別に時間を設けて迎えてくださったところもありました。また、食事や深夜に及ぶまでの語りいにお付き合いくださった牧師夫妻との時間も宝のようで、心身大いに力づけられました。

今回圧倒されたのは、北陸と飛驒の海路山路をかき分けて、どこにでも点在する教会の存在です。どこまでも続くかのような峠道を超えてようやく見えてきた町にある教会。川のほとりに立ちその町の歴史と共に佇む教会。移転し新たな歴史を刻み始めている教会。他教会に仕え、ささげる教会。新たな宣教の課題に取り組んでいる教会。それぞれの教会の歴史を垣間見、始められたことはもとより、そこから何年、何十年、世紀をまたいで存在し、輝きつづける教会が実際にあることに大きな衝撃と感銘を受けました。また、そこに

仕え続ける先生方と信徒はまさに生けるレジエントのようで、彼らとの交わりは格別なものでした。そんな北陸飛驒の教会にしろ、13年前に生み出された盛岡みなみ教会も、終わりの日まで、キリストの花嫁としての備えを怠らない教会を目指したい。そんな信徒を生み出し、励まし続けていきたい、という道しるべをいただいたデプテーションでした。



高山祝福教会にて

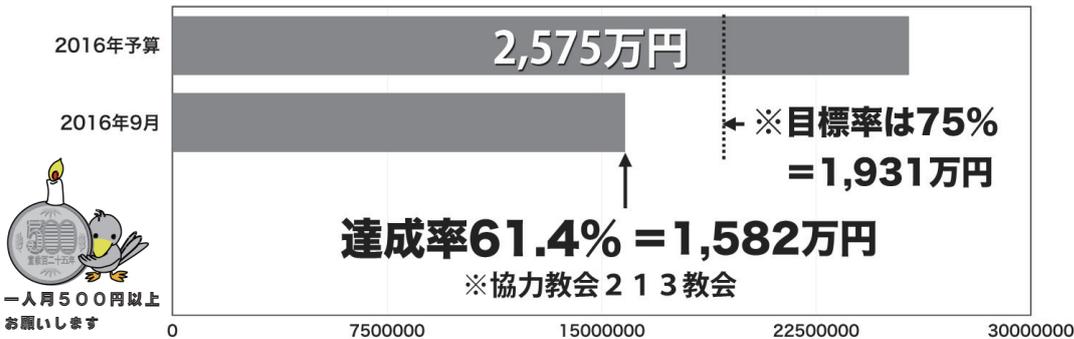


神岡キリスト教会にて



金沢めぐみ教会にて

国内宣教 No.187 おささげください！国内宣教献金



国内宣教献金感謝！

国外宣教

この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。マタイ24:14

2016年11月号 No.477

編集発行／日本同盟基督教団 国外宣教委員会

新支援体制 各教会・宣教区の取り組み

国外宣教委員会

国外宣教では今年4月より、新しい支援体制をスタートいたしました。おもに宣教師指定献金の導入、各教会・宣教区国外宣教窓口・担当設置、などをお願いしておりますが、これらはいずれも、各教会・宣教区と各宣教師（宣教地）とが祈りと支援の太いパイプでつながることを目指しているものです。

そのような中、今回は各教会・宣教区で取り組んでくださっている取り組みを紹介させていただきます。

◆窓口・担当者の設置

新支援体制に伴い、いくつかの教会・宣教区では国外宣教の担当窓口を設置して下さっています。具体的な取り組みはそれぞれに違いますが、これまで取り組んでこられたものを、牧師・宣教区長・役員の方たちと連携をとり

ながら取り組んで下さっています。その構成も様々で、お一人の方が担当者となつてくださるところもあれば、宣教区によっては委員会を設置して下さっているところもあります。

◆宣教師報告の受け入れ

宣教師が各教会を訪問させていただく際、各宣教区ごとに受け入れのご協力をいただいています。おもに宣教区内へのご連絡やスケジュールの調整、宿泊・移動に関するご協力などです。はじめて訪れる地などは、距離感などもわからないので、宣教区の先生方に助けていただくと、無駄のない移動ルートなどを教えていただけるのでとても助かります。また、各教会や施設で宿泊を受け入れ、訪問の拠点として長期の受け入れをしていただくこともあり、荷

物の多い宣教師にとっては本当に助かっています。

また、限られた期間ゆえ、宣教区内すべての教会を訪問することが難しいのが現状ですが、いくつかの教会で合同の礼拝・集会を持つてくださったり、宣教区全体の集会に招いてくださったり、あるいは特別な集会を企画して下さったり・・・様々な工夫をして下さっています。

例えば、新潟山形宣教区では、宣教師報告に訪れる宣教師を講師にして「世界宣教の夕べ」を開催して下さいます。これまでも2回企画して下さいましたが、いずれも宣教へのチャレンジと祈りに満ちたすばらしい時となりました。

◆祈りのグループ

いくつかの教会では、各宣教師（あるいは宣教地）を覚えて祈る、祈りのグループを作つて下さっています。教会全体で全宣教師を覚えるとともに、グループごとに特定の宣教師・宣教地を覚えることで、祈りのパイプを強めて

くださっています。

◆「つなぐ」媒体の活用

最近ではインターネットの普及で遠方と気軽にコンタクトがとれるようになってきました。集会などで、スカイプなどの媒体を通して宣教師・宣教地と中継をつなぎ、リアルタイムでお互いの近況や祈りを分かち合っています。

◆委員会からの提案

・世界宣教師力フェス

今年9月、委員会の企画で、世界宣教師力フェスを開催しました。今回は東京（石神井福音教会）と関西（茨木聖書教会）を会場に2箇所で開催。齋藤五十三宣教師を囲んで楽しいひとときを持ちました（詳しくは後頁参照）。このような親しい交わりの時を通して、宣教師や宣教地を身近に感じていただきたいと願っています。ぜひ各教会、宣教区でこのような時を持っていたいただくと感謝です。

この他、各教会・宣教区でなされている取り組みにつきまして、ぜひお知らせください。（主事 池田いずみ）

五年の間に 学んだこと

台湾 教団派遣宣教師

さいとういそみ ちえこ
齋藤五十三・千恵子

リシン
立新教会



関西宣
教区訪問
の折り、
友人の牧
師より一
つの問い
かけを受
けました。

「五年間論文に
取り組んで、最後に何を得たので
すか」と。友人は、神学的な答え
を期待したのだろうと思います。
しかし、答えを思い巡らす中で思
い至ったのは、神学的に得たこと
以上に深い、人間として学んだこ
との幾つかでした。6月に再提出
した学位論文は、9月の初め、つ
いに最終審査を通過しました。五
年間、多くの方々がお祈りくださ
いましたので、感謝をこめて、こ
の五年の取り組みを通して学んだ

三つのことを書き留めたいと思
います。

第一は、信じて待つことの大切
さです。五年の間、私は度々迷い、
行き詰まり、後ろを振り返ること
がありました。研究結果を分析
評価し、まとめるという論文の作
業はまことに孤独で、それに耐え
続けた五年の歳月は、まことに長
い時間でした。「ここから前に進
めるのか」「失敗したらどう言い
訳しよう」との迷いにとらわれる
中、いつも最後に問われたのは、
真実な神（詩篇37篇5節）への信
頼でした。学位論文に取り組んで
いるという、崇高な真理ばかり
を探究しているように思われるか
もしれません。しかし、私もまた
一人の信仰者として神に信頼する
という、この単純なことを日常的
に問われ続けたのであり、そうし
た積み重ねの中に、実は深い恵み
の世界があったのでした。

第二は、人との出会いの大切さ
です。五年の間、私は多くの方と
の出会いを与えられました。私を
指導したオランダ改革派の教師た
ち。神学の議論だけに留まらず、

食卓テーブルでの日常の交わりを
も共にする中、神学が生活に根差
している、その敬虔な生きざまに
心を打たれることが多々ありまし
た。また年に一度、オランダに会
して研究を励まし合った各国から
の学生たち。アフリカ、北南米、
アジア、欧州と交流の裾野の広が
りとともに、真理を探究する熱意
には国境がないことをも経験しま
した。そして日本各地で私のため
にお祈りくださった皆さん。この
祈りの繋がりは、私のかけがえの
ない信仰の財産となって私を支え
続けています。

第三は、目指すゴールがどこに
あるかです。学位取得がゴールで
はなく、教会の将来を担う働き人
を育てること。教会を生み、育て
ることに力を注いだ第二期、第三
期を経て、第四期以降は人（伝道
者）を育み、残していくのだと。
そのように主が導かれていること
を確認しながら歩み続けた五年で
あったことを、今、学位取得を目
前にして心に刻んでいます。

宣教師近況・祈祷課題

◆齋藤五十三・千恵子（台湾）

書き直し、再提出した論文が、
ついに最終審査を通過しました。
12月の口頭試問を経て、学位授与
となります。なお今月は23日から
5日間、TEAM恒例のリトリ
トです。

◆矢田紫野（モンゴル）

眼の小児がんの治療を必要とし
ているウヌボルド君のために。市
内にあるチャリティー団体の支援
を受けることになり、現在その団
体が治療費捻出のためのチャリ
ティーコンサートを市内各地の学
校で開催しています。支援者が多
数起こされ、必要金額が満ちるよ
うに。また早急に1回目の北京渡
航費用が満たされ、治療を受けら
れるように。（10月20日現在、渡
航日未定。合計6回の治療が必要）

◆浜田献・陽子（ブラジル）

12月初旬からの一時帰国の準備
と健康が守られるように。子ども
たちの学校の奨学金（割引）がい
ただけるように。主任牧師の安



World Mission Cafe- 世界宣教カフェ

宣教師を囲んで楽しいひとときを持ちました。みことばと祈りと、いつもは聞けないとっておきの話など……。あなたの教会、宣教区でもオープンしてみませんか。

in 東京
(石神井福音教会にて 9/10)



in 関西 (茨木聖書教会にて 9/22)



齋藤五十三宣教師



詳しくは
国外宣教委員会へ
03-3465-2194
kokugai@domei.info



世界宣教カレンダー 2017



今年も来年に向けて「世界宣教カレンダー」を作成しました。今回は新たな派遣を受けて、さらに「世界に拡がりつながる」ことをイメージしました。私たちの祈りが世界へ拡がりつながっていく。そんな願いを込めてお届けします。どうぞ世界宣教の祈りにお用いください。

国外宣教委員会
一冊 300円 ※送料別

井敏明先生、弘子先生の健康と牧会の祝福のため。

◆河野晃・美千代(タイ)

9月末に次男が左足を骨折し、またとびひやインフルエンザにかかったりと健康面で厳しい日々を過ごしました。10月13日に国王が死去し、国中が喪に服しています。家族の霊性と健康が守られますように、またタイの人々の思いと悲しみをよく察して、配慮ある行動をとれますようにお祈りください。

◆林武志・趙伶俐(東南アジア)

11月は九州宣教区、北陸飛騨宣教区でデプテーションを行います。引き続き、ビザ取得のためにお祈りください。

◇国外宣教短信

◆金煥・朴貞玉(南アフリカ)

宣教師夫妻は、9月26日に南アフリカへ出発しました。ふさわしい住居と車が備えられるように。そのための必要が満たされるようお祈りください。

(国外宣教委員会)

宣教師に クリスマスレターを送ろう!

齋藤五十三・千恵子(台湾)

Isomi & Chieko Saito
40653 台中市北屯区崇徳六路
100号 11F-1 TAIWAN

矢田紫野(モンゴル)

Shino Yada
c/o JCS International PO 51Box 189 BZD
Ulaanbaatar, 13343, MONGOLIA

浜田献・陽子(ブラジル)

Ken & Yoko Hamada
Terceira Av. Bloco1240, Casa02, N.B.-DF.
Brasilia, CEP 71720-008, BRASIL
※ 12/8 ~ 翌年 1/26 一時帰国するので、
その間は右記教団事務所へ

河野晃・美千代(タイ)

Akira & Michiyo Kono
Chic Apartment Room M06
398Marche Ram53, Soi Ramkhamhaeng
53(Chan Sri Chawala) Phlab Phla,
Wangthonglang, Bangkok, 10310
Thailand
(※河野師一家は 9/7 にタイへ出発)

林武志・趙伶儂(東南アジア)

〒 151 - 0072
東京都渋谷区幡ヶ谷 1 - 23 - 14
教団事務所内

金煥・朴貞玉(南アフリカ)

〒 151 - 0072
東京都渋谷区幡ヶ谷 1 - 23 - 14
教団事務所内
(※金師夫妻は 9/26 に南アフリカへ出
発しましたが、まだ住居が確定して
いないため、郵送物は教団事務所宛
にお送りください。)

***皆様からのお手紙は、

宣教師にとって

大きな励みです***

国外宣教献金報告(2016年9月末現在)

↓期待値 75.0%

6,570,377 円 (59.5%)

宣教師指定献金予算 11,040,000 円※

期待値 75.0% ↓

25,486,900 円 (68.0%)

収入予算 37,493,807 円※

※収入予算合計額(37,930,000円)から積立て金取り崩し分を除いたもの。

★浜田宣教師一家
一時帰国時の必要について★

今年12月〜翌年1月にかけて、浜田宣教師一家が宣教報告のために一時帰国します。その際、左記の必要がございますので、献品、もしくは貸し出しのご協力をお願いいたします。

●乗用車(計6名乗車/大人2名・子ども4名)※チャイルドシートは献品がありました。感謝。

●冬服(男子子ども用・おおよそ160cm、140cm、120cm、100cm)

●寝具(毛布・シャツなど)、※敷き・掛け布団は必要数与えられました。感謝いたします。

すでに多くの献品をいただき感謝いたします。献品のお送り先は滞在先となる八千代聖書教会になりますが、受け入れに準備が必要となりますので、事前に下記までご連絡ください。感謝とともに。

国外宣教委員会

国外宣教委員会 TEL: 03-3465-2194 (教団事務所内) Email: kokugai@domei.info

信 望 愛

日勝峠寸断―被災報告

日高キリスト教会牧師 下川友也しもかわともや

今年8月末から9月初めに、異例な台風水害で北海道の各地が被災した。私たちの所在する日高は、

ある。今やすべてがグローバル。このたびの災害で学んだことは多い。

その中のひとつであるのだが、急遽教団に訴え、災害義援金を送っていた。日高町とは、キャンプ場の譲渡のこともあり、ここは日高教会のバックにある教団の証しとしても、有意義であった。

その①は、毎年台風禍は、もっぱら沖縄、九州、四国、西日本である。よくぞ、身代わりのように、盾となつてご苦労してくださつたという、連帯、感謝の気持ち。

折りから、北海道聖書学院の特講に來られた朝岡副理事長が、町役場までごあいさつにおいでくださった。

②は、報道というものは、(ほかに)も国外、国内のニュースが山ほどあるから)日高の被害、惨状もよくなって数回、日が経てばもはや何事もないかのように。

幹線国道R274が、峠の入口の落橋からおよそ1000Mの天下の峠を、十数ヶ所を寸断され、

しかし③被災地の生活の厳しさは、そこから長く続いて行くのである、

復旧は来春以降までとされた。おかげで、ただでさえ静かな日高町の表通りは、まるで閑散。それほど多いわけではないが町の食堂、

④これが東北3・11や神戸の、来年で22年になる震災のその後の長き戦いを想わせる。

ガソリンスタンド、コンビニは打撃を受けている。峠のむこうの大手運送業者の困窮はやがて本州の物価高にも影響することは必至で

風聞するところ、日本の教会は、2011年3月11日から大きくかわつたと、今回の神戸での日本伝道会議参加者の声である。それはまことに必然、そして良いこ

とであろう。2001年9月11日からの世界の大変化、日本という国のかたち、ありようの、予測しがたい先行き、その中で、一ローカルチャーチは、どう生きていくべきか、そして同盟教団の大きな方針は？日高の農村にありて、秋深く、物想うときである。

落橋した国道274号線の千呂露橋



教団より災害義援金をお渡しした。
*左から下川友也師、朝岡勝師、神保一哉氏(日高町議会議長)、榎本典康氏(日高町役場地域住民課長)



MATSUBARAKO BIBLE CAMP 2016▶2017

Winter Camp

あなたがたはみな、キリストイエスに対する信仰によって、神の子どもです。ガラテヤ3:26



スノーキャンプ

2016.12.26[月]ー30[金]

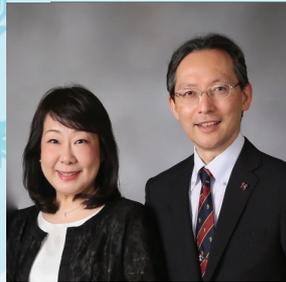
講師 ■ 岡村直樹 師 [東京基督教大学教授]

対象 ■ 中学生,高校生,大学生,青年

費用 ■ 23,500円
(申込金3,000円+キャンプ費20,500円)



【早割】
11月30日消印
までの申込み
キャンプ費
500円割引



新年聖会

2016.12.30[金]ー2017.1.2[月]

講師 ■ 遠藤勝信 師・かおる 師 [東京女子大学教授]

対象 ■ 高校生以上, 一般 (家族同伴の場合は高校生以下も参加可能)

費用 ■ 22,500円
(申込金3,000円+キャンプ費19,500円)

音楽ゲスト
土井康司



松原湖バイブルキャンプをご利用ください!!



1. 個人で・・・喧噪の日々を離れ、主の前に静まる時。
2. 教会で・・・修養会、聖書研究会、各会の交わりに。
3. トレッキング、スキー、温泉、豊かな自然を満喫。

※ご利用の方はお早めにご連絡ください(^o^)



Home of the heart...in the heart of Japan

松原湖バイブルキャンプ

〒384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里4912

TEL.0267-93-2347 FAX.0267-93-2475

e-mail: info@matsubarako.com http://matsubarako.com

キャンプの
お申し込み
お問い合わせは
キャンプ場まで
ご連絡
ください

* 献金のお願い *

いつも尊いご支援を賜り心より感謝申し上げます。今年度もキャンプ宣教の祝福、キャンプ場の維持・運営、新キャビンの返済を覚え、ご支援をお願いいたします。

【郵便振替口座：松原湖バイブルキャンプ 00560-8-16528】